

みんなで日曜大工プロジェクト！～空き店舗を再生した新しい居場所作り

団体名 法政大学 @団地

代表者名 小野美瑞季

①事業内容

カウンターは主に去年4月にオープンしたおひさまカフェ（住民カフェ）が使用するものとなるため、高さや色合いを学生だけでなく住民と話し合いを重ねた。要望等をふまえて法政大学今井教授に図面作成や材料・備品の準備に協力してもらい、学生と住民が一緒になってつくる。また、カウンターを学生主催のイベントなどのカフェ以外にも利用できるようキャスターを付けて可動式にする。塗装に関しては、カウンターと本棚を机や椅子に合わせた落ち着いた色にすることで、場の統一感を出す。

②実施報告

9月4日にカウンターづくりをし、9月10日にカウンターと本棚の塗装を行った。まず、4日のカウンターづくりでは法政大学今井教授にお願いした図面のもと学生と住民と一緒に一から作成することができた。10日の塗装では、一昨年つくった本棚とカウンターを一日かけ何度も塗りなおす作業を行った。塗装は学生や住民、おひさまカフェのスタッフ、子どもといった幅広い世代で行うことができた。4日、10日共に屋外で作業を行うことで、近くを通る方に興味を持ってもらうことができ、おひさま広場や本事業の説明をし、目的でもあるおひさま広場や@団地の周知につながった。カウンターを使用し始めるとおひさまカフェに来てくださる方から「雰囲気良くなった」といった声をいただいている。

③事業を実施した感想

おひさま広場が寺田の重要な地域拠点となっていると感じている。一昨年と去年、プロジェクトとして壁塗り、本棚とカウンターをつくり、塗装をするという場づくりを行った。自分たちの手で場づくりを行ったことで参加した人はもちろん、通りかかった住民が来てくださる、また住民が住民を誘い、憩いの場として活用している。私たちが住民とつくりあげた場は寺田団地のコミュニティ・スペースとして少しずつ周知されていると実感している。一方で、事業を行うにあたっての課題として計画が遅れたことで学生の参加人数が4名と少なくなってしまったことがあげられる。計画を立て、住民との話し合いが行われたのが8月の下旬であり、本事業が実行されたのが9月の中旬と当初のスケジュールとは大きく反れてしまった。それに伴い学生や住民への情報共有が遅れてしまい、本事業を広く周知することができなかったことが大きな反省点であると考えている。今後はさらに住民のニーズを聞き、学生として何ができるか、どのような場にしていくのか改めて検討していきたい。

